

学校教育目標

豊かな未来を拓く 児童の育成

1 1月の振り返り

1. 「魔の11月」何とか乗り切った！ (1) トラブルも、想定内 →十分リカバリーできる！ (2) 県教委指導より ●子供の言葉の力不足が、トラブルにつながっている。	● 「人権」について理解しているが、行動に移せない？無意識な言動を自制できない？ ● 対人スキルを身に付けていない？未学習？ ● 子供が使っている言葉に敏感になろう！ ● 「何が問題なのか」丁寧に教えてやらないと、「何故指導されているか」理解できない子供が多い。
2. 研究発表会、大好評！	○ 自分たちの実践に自信をもとう！ ○ これで終わりではない。一段高い目標を設定しよう。
3. 校外学習・音楽発表会等を通して (1) 見学態度・探究心・課題解決力 (2) やりきった達成感！	○ メモをしっかり取れる子供が多い。 ・振り返り、まとめをしっかり！ ○ 「頑張って良かった！」という成功体験を次に生かす。
4. 一部児童の生活力	● 基本的生活習慣の大切さ(早寝・早起き・朝ご飯)
5. 掃除への取り組み方、向上している	○ 取りかかりが早くなった。 ○ 縦割り掃除の効果 ・上級生が下級生に…



「プラス面に目を向ける」12月

- 成長・成果を喜び合う
- 「ありがとう」の言葉が自然に交わされる

趣 旨	留 意 点
1. 心を落ち着かせ、不安軽減 (1) 「セロトニン」の分泌を促す (2) 自分が「認められている」と意識できる場を数多く設ける (3) 先生方も、一息つこう	(1) セロトニン5 ①みつめる ②ほほえむ ③はなしかける(名前を呼ぶ) ④さわる ⑤ほめる (2) 「深呼吸」の時間を取る
2. 向上的変容を、子供たちにフィードバックする。 (1) 「自分は結構やれる」と自信をもたせる	(1) 全体的に、着実に成長している！ (2) 一人一人の頑張りの様子に意味付けしてやる。 ○ 結果だけでなく、「やろうとしていた」ことにも光を当てる
3. 研究発表会を終えて	(1) 「分かる・できる」授業の工夫 (2) 子供たちの実態をしっかりと分析する。 →3学期につなげる
4. 健康・安全 (1) げんきっずチャレンジ (2) 杉野先生講演	(1) 感染症予防 (2) 体力づくり ○ブルーラインマラソンに8割参加を目指す (3) 基本的生活習慣

意識を揃えて取り組もう

学 習	生 活
○ 自分の考えを相手に伝えよう	○ 友だちのいいところを伝えよう